

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4 年 3 月 9 日

公表: 令和 4 年 3 月 31日

事業所名 児童デイサービス ラウレア

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		法令を遵守し、スペースを確保しております。	
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		配置基準以上の人員数は満たしております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		建物の構造上対応できない箇所もございますが、これからもお子様にとって安全な環境を整えていきます。	階段手すりの取付工事は順次進めて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		清掃と利用者様が触れる場所等、おもちゃなどこまめに消毒しており、換気しております。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		毎日、朝礼と終礼を行い職員間で情報共有を行い、目標を設定し目標に応じて取り組んでおります。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		<input type="radio"/>		初めての評価でしたので、今回の意見を参考にし継続していく点、改善していく点を明確にしていきたいと思っております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		<input type="radio"/>		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		現在は保護者様と事業所内で評価を行っております。第三者による外部評価に関しましては、現在行っておりませんが今後検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		社内研修は定期的に行っております。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		利用者様・保護者様のご意見やご要望を出来る限り尊重し、学校や相談支援事業所などの他の関係機関と連携し、利用者様の課題や支援を明確し個別支援計画を作成しております。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントのツールを使用しております。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		児童発達支援計画には必要な項目が記載されており、お子様に沿って具体的な支援計画を設定しております。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者を中心として、職員全員で話し合いを定期的に行い実施しております。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		イベント考案書をもとにスタッフが精査を行いイベントを決定しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		曜日固定のプログラムもあるが、イベントが重複しないよう様々なプログラムを取り入れ実施しております。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者が中心となり、定期的に活動の様子などをスタッフ間で話し合い児童発達支援計画を作成してはる。	

17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日の朝礼・終礼、毎月行われる全体会議で、スタッフの役割、利用者様への支援内容の確認を行っております。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の終礼で、スタッフ間で情報共有を行っております。全員が周知できるように、次の日の朝礼にも振り返りを行っております。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援に関しての記録は、終礼の際に記録しております。記録の内容は、適宜スタッフが確認できるようにしております。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に行っております。目標や計画に対し達成できたかスタッフ間で協議し結果の見直しを行っております。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者を中心とし、出席しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		新型コロナウイルスの感染症予防のため自粛しておりますが、コロナウイルスが収束次第順次進めていきたいと思っております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在、重症心身障害児の子どもの受け入れを行っておりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		個人情報の取り扱いもありますので、保護者様からのご依頼がありましたら移行支援のお手伝いができるよう体制を整えております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	臨床心理士の先生をお呼びし、お子様への接し方等研修を受けております。	新型コロナウイルス感染症予防により、現在は他事業所や専門機関等の連携は行っておりませんが、今後専門機関等に依頼し研修を行っていききたいと思っております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		新型コロナウイルスの感染症予防により、現在は実施しておりませんが、今後実施の検討していきたく思っております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時、電話にてお子様の様子を保護者様へお伝えしております。児童発達支援管理責任者が定期的に保護者様の面談を行いお子様の状況や課題についてお話しております。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		定期的を実施しております。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に保護者様に対して、ご説明を行っております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時に保護者様に対して、児童発達支援管理責任者がお子様の計画に基づいた支援内容・支援計画のご説明を行っております。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		児童発達支援管理責任者が定期的に面談を行い、保護者様からのご相談、ご意見をお聞きしております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		新型コロナウイルスの感染症予防により、現在は実施しておりませんが、今後実施の検討していきたく思っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者様からのご相談・ご意見がありましたら、児童発達支援管理責任者が迅速に対応しております。内容につきましては、当日の終礼又は次の日の朝礼にて周知できるように対応しております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSやタイムラインにて、お子様の様子やイベント行事等を写真で掲載し分かりやすく発信しております。	

38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		日頃より個人情報のデータや管理、SNS投稿の際には気を付けております。今後も継続して続けて参ります。	
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもや保護者様への意思疎通や情報伝達のための配慮を日頃より気を付けております。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在は、コロナウイルス感染予防のため自粛しておりますが、コロナウイルスが収束次第検討していきたいと思っております。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		定期的に災害や地震の避難訓練・避難場所、不審者等の防犯の確認を、お子様・スタッフを含めて訓練を実施しております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		見学や契約時の聞き取りにて、アレルギーがあるお子様に関してはお薬の服用や、アレルギー対応など細かく保護者様から聞き取りを行っております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		見学や契約時の聞き取りにて、アレルギーがあるお子様に関してはお薬の服用や、アレルギー対応など細かく保護者様から聞き取りを行っております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎日の朝礼・終礼にて全員が周知し対応できるようにしております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		日頃から虐待防止の適切な対応しております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		見学時・契約時に身体拘束・行動制限について詳しく保護者様へご説明を行っております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。